

平成27年度

第二次沼田市環境基本計画 年次報告書

平成28年10月

沼 田 市

本調査について

1 調査目的

本調査は「第二次沼田市環境基本計画（第二次計画）」に定める6つの柱（基本方針）ごとに、施策事業の実施状況、目標の達成状況等を年度ごとに点検、把握することにより、今後の施策事業の効果的な推進や計画の進行管理に役立たせるとともに、本市環境行政に対する市民の理解を促進することを目的として実施したものです。

2 調査対象及び対象年度

本調査は、平成27年度中に実施した第二次計画に基づく各種施策、事業等の実績に対する調査です。

3 調査方法

下記アからウについて、各課が進捗状況点検調書を作成（自己点検）することにより実施しました。

ア 実施施策事業の概要、現在までの経過

イ 平成27年度における実施状況及び評価

＜評価の項目＞

A 予定を上回る効果

B ほぼ予定どおりの効果

C 予定を下回る効果

D 現時点で判断できない

ウ 次年度の取り組み計画

4 調査結果

平成27年度における実績及び評価内容について、6つの柱ごとに掲載しています。

5 調査結果の公表について

沼田市環境基本条例第10条により、調査結果については沼田市環境審議会において報告し、市ホームページに掲載し公表します。

目 次

1 自然環境の保全と再生	1
森林整備事業（1－①）	1
林業の担い手育成（1－③）	1
森林ボランティアとの連携（1－④）	2
森林・木材に親しむ体験教室（1－⑤）	2
地場産木材活用の普及啓発（1－⑥）	2
2 自然との共生	3
生物多様性の確保（2－①）	3
有害鳥獣対策（2－②）	3
玉原高原の保全と活用（2－③）	4
自然を知り親しむ体験教室（2－④）	5
田園空間の保全と整備（2－⑤）	5
農地の適正管理、耕作放棄地対策（2－⑥）	6
開発事業や事業活動における環境への配慮（2－⑦）	7
3 生活環境の保全	9
生活雑排水処理（3－①）	9
公害防止対策（3－②）	9
不法投棄対策（3－③）	11
野焼き等の防止（3－④）	11
公共交通機関の充実（3－⑤）	12
地域美化（3－⑥）	12
都市緑化の推進（3－⑦）	13
緑化、花いっぱい運動の推進（3－⑧）	14
景観の形成（3－⑨）	14
自然災害の軽減（3－⑩）	14
放射線対策（3－⑪）	15
空き家対策（3－⑫）	16
4 循環型社会の構築	17
ごみの分別の徹底（4－①）	17
廃棄物適正処理の推進（4－②）	18
資源リサイクルの推進（4－③）	19
5 地球温暖化の防止	20
地域での温室効果ガス対策の推進（5－①）	20
再生可能エネルギーの活用推進（5－②）	22
6 協働による環境像の実現	24
環境活動団体との連携（6－①）	24

環境啓発イベント等の開催（6－②）	25
環境教育の推進（6－③）	25

1 自然環境の保全と再生

— 重点施策 —

森林環境の整備

森林は水源涵養機能や土砂災害の防止、大気浄化などの公益機能とともに多様な生物を育てています。豊かな森林による恩恵が永続して享受できるよう、その保全と整備を図ります。

水環境の保全

健全な水環境を確保するため、生物の生息しやすい河川等の護岸整備、水質汚濁防止に向けた取り組みを関係機関と連携し、実施します。

森林整備事業（1－①）

造林や間伐の推進

森林整備事業／農林課

内容：森林所有者及び森林組合が行った間伐事業・森林整備事業に対し助成した。

実績：流域森林総合整備事業 目標 2.0ha 実績 2.0ha

美しい森づくり基盤整備事業 目標 55.0ha 実績 31.2ha

評価：B 目標には及ばないが、要間伐齢に達した森林の整備を行うことで、山林の持つ多面的な機能の維持増進を図る事ができた。

林業の担い手育成（1－③）

林業後継者の確保、育成

林業の担い手育成／農林課

内容：退職金共済や厚生年金掛金の助成を行った。

実績：目標 延べ加入者数 60人

実績 延べ加入者数 55人（12事業所）

評価：B 目標には届かないが、対象者が増加傾向にあるため、今後も引き続き事業を行いたい。

林産資源の活性化促進

特用林産物生産活力アップ事業／農林課

内容：平成27年の取り組み実績なし

実績：実績数値等なし

評価：D H27年度については、事業希望者がいなかった為実施は無かったが引き続き生産量向上に向け支援を継続したい。

森林ボランティアとの連携（1-④）

森林ボランティア（下草刈り、間伐等）の育成

森林ボランティアとの連携／農林課

内容：市民参加のボランティア組織により森林づくりへの気運を高める。

実績：43名の参加のもと、仮称おとぎの森において、下刈り、除伐、間伐作業を実施した。

評価：B 多数の市民の参加が得られ、森林づくりへの気運が高められた。

森林・木材に親しむ体験教室（1-⑤）

市民の森の周知と活用促進

市民の森管理事業／農林課

内容：森林公園整備及び既存施設の維持管理

実績：森林整備 目標50日 実績50日

施設清掃 目標35回（7日に1回） 実績32回（約7日に1回）

評価：B 計画どおりの作業が行われ、森林公園の適正な管理が図られた。

地場産木材活用の普及啓発（1-⑥）

地場産材の公共施設への利用

沼田市公共建築物等における木材の利用促進に関する基本方針／農林課

内容：1 市有施設における木造化 2 施設の木質化

3 家具、備品及び調度品の木質化の推進 4 木質バイオマス等の推進

5 市施工土木工事等における木材利用促進

実績：目標 設定無し（全庁的に取組実施予定）

実績 1 市有施設における木造化…1件

3 家具、備品及び調度品の木質化の推進…1件

5 市施工土木工事等における木材利用促進…3件

評価：D 施設整備等は、建築基準法等により木造化が困難な場合もあるが、備品等の木質化の推進に努めていきたい。

間伐材の有効利用を促進

流域森林総合整備事業／農林課

内容：搬出間伐を行った森林整備について支援を行う。

実績：流域森林総合整備事業 目標 搬出間伐 2.0 ha 実績 搬出間伐 2.0 ha

美しい森づくり基盤整備事業 目標 搬出間伐 5.6 ha 実績 搬出間伐 5.6 ha

評価：B 厳しい財政状況の中、本事業は縮小傾向にある。

また、搬出間伐については条件が整わない場所での実施は困難なため市費による支援のみでの搬出間伐量の拡大は困難な状況にある。

2 自然との共生

— 重点施策 —

自然との共生エリアの創出

地域の特性に応じ、人々が自然とふれあえる場の整備を行うとともに、生物の多様性*が確保されるよう、貴重種等の保全に向けた取り組みを推進します。

事業活動における環境負荷の低減

事業活動での環境負荷を減らすための情報提供や学習機会を設けます。

公共事業においては、自然への配慮や温暖化対策も踏まえた環境配慮指針を定めるなど、環境への負荷に配慮した事業を行います。

生物多様性の確保（2-①）

特定外来生物の生息状況把握、情報提供

玉原地区外来生物防除作業／環境課

内容：玉原東急リゾート敷地内において利根沼田自然を愛する会、関東森林管理局利根沼田森林管理署、玉原東急リゾート、市職員で協力しながら特定外来生物及び要注意外来生物の防除作業を実施した。

実績：参加者25名 防除重量60kg

評価：B 前年よりも広範囲の防除作業を行ったにもかかわらず、防除重量は減ったため、効果が出ていることは感じられた。

有害鳥獣対策（2-②）

有害鳥獣被害の把握、情報収集

有害鳥獣対策／農林課

内容：有害鳥獣による農作物被害等を防止するための対策

実績：H27 イノシシ 136頭(100頭) ハクビシン 192頭(30頭) 猿 207頭(235頭)
シカ 362頭(190頭) クマ 28頭

H26 イノシシ 118頭(70頭) ハクビシン 114頭(30頭) 猿 202頭(204頭)
シカ 225頭(70頭) クマ 28頭

H25 イノシシ 58頭(70頭) ハクビシン 47頭(70頭) 猿 59頭(171頭)
シカ 185頭(30頭) クマ 11頭

※数字表記は実績値、()内は目標値

評価：B 捕獲目標を上回る実績となったが、農作物被害は増加傾向であり、更なる防止対策が課題となる。

有害鳥獣対策の推進

有害鳥獣対策／農林課

※上記事業と同じ

玉原高原の保全と活用（2－③）

森の博物館、自然体験の場としての活用

森の博物館、自然体験の場としての活用／観光交流課

内容：一般観光客が来訪したり、利根沼田自然を愛する会などによる自然観察会が多く行われているため、森に入りやすい、植物等を観察しやすいように遊歩道及び指導標等の管理・整備を実施した。また、湿原保全事業として、植生変遷調査を委託している大学教授の助言を受けた。

実績：銅金沢橋修繕（4 m木製橋） 指導標修繕（3箇所） 湿原内木道修繕（8箇所）
湿原内デッキ修繕（3箇所）

評価：B 遊歩道について、部分的な修繕は行っているものの、全体的に経年劣化が進んでいるため、大規模な改修が必要である。

関係機関やボランティアなどと連携を強化したパトロールの実施

関係機関やボランティアなどと連携を強化したパトロールの実施／観光交流課

内容：利根沼田森林管理署、利根沼田自然を愛する会の独自の活動と同時にされるパトロールと同様、当課においても遊歩道・木道の確認作業と同時に周辺を監視した。

実績：実績数値なし

評価：B 関係諸機関と連絡を密にし、実施することができた。今後も引き続き情報を共有し、協力体制を維持していきたい。

観光客へのマナー向上の啓発

観光客へのマナー向上の啓発／観光交流課

内容：当市発行のパンフレット「玉原高原遊歩道散策マップ」及び「ぬまた山歩きガイド」に自然保護についての注意喚起文を入れており、これを観光客・ハイカーに配付することにより、マナー向上を図っている。

実績：実績数値 「ぬまた山歩きガイド」増刷 10,000部

評価：B 玉原センターハウスや自然環境センターなど各施設でパンフレットを配布することができた。

遊歩道や木道、標識等の適切な管理

遊歩道や木道、標識等の適切な管理／観光交流課

内容：雪害・腐朽により破損した木道等の修繕を実施。

実績：銅金沢橋修繕（4 m木製橋） 指導標修繕（3箇所） 湿原内木道修繕（8箇所）
湿原内デッキ修繕（3箇所）

評価：B 以前より懸案事項であった湿原内に設置されている3つの見晴らしデッキを修繕するなど予定通り事業を実施できた。遊歩道については、部分的な修繕は行っているものの、全体的に経年劣化が進んでいるため、大規模な改修が必要である。

自然を知り親しむ体験教室（2-④）

自然体験活動の場の設定、自然体験活動の推進

青少年自然体験活動推進事業「沼田ネイチャーキッズ」／社会教育課

内容：前年度に引き続き、旧南郷小学校を会場に、2泊3日の日程で野外炊飯やレクリエーション、川遊び、キャンプファイヤー等を実施し、青少年の自然体験活動を推進した。

実績：○数値目標：小学校5年生から中学生までを対象に50人を定員として募集した。

○実績数値：小学生28人、中学生13人、役員等56人 合計97人

評価：B 少子化等の影響により、定員には達しなかったものの、参加者の声を聞くとおおむね好評で知名度は高く、前年度と同様に事業を実施できた。

親子木工教室の開催

地場産業育成事業（親子木工教室の開催支援）／産業振興課

内容：中町の六斎広場において、主に親子連れを対象に、本立て、スノコ、イス等の木工工作指導を行った。

実績：数値目標：両事業併せ参加者数250人程度

○児童木工工作大会・・・平成27年8月22日(土)、23日(日)の2日間
76組、169人

○ニュー木工工作広場・・・平成27年11月8日(日)雨天 50人

評価：C 平成27年度のニュー木工工作広場は、多岐講実施期間に実施したが、雨天等の影響もあり、目標の数値を下回る結果となった。

田園空間の保全と整備（2-⑤）

農村関係の保全、整備

山村振興促進事業／農林課

内容：集落協定または個別協定に基づき、5年間以上継続して農業生産活動を行う農業者等に対して、農地の不利性や面積に応じて交付金を交付する。

実績：目標 協定締結数 23件 協定活動達成率 100%

実績 協定締結数 23件 協定活動達成率 100%

評価：B 過疎化・高齢化等による協定組織の活動が年々難しい状況になってきており、平成26年度から1協定組織がやめてしまっている。今後において他組織も同様な状況となってくると思われるため、他事業等も含めて支援を続けていきたい。

農村公園の整備

三沢交流広場管理事業／白沢支所

内容：管理業務を公益社団法人沼田市シルバー人材センターに委託した。

実績：平成27年度利用者数 目標 11,880人（過去5年平均利用者数）

実績 11,156人

評価：C 施設の適切な維持管理に努めたが、利用者数が例年より下回る結果となったため。

農地の適正管理、耕作放棄地対策（2-⑥）

農業経営者への支援

新たな農業経営を営もうとする者の参入促進／農業委員会

内容：新規就農者による農地の取得又は借受について、農地情報バンク等により農地所有者との調整を行った。また、新規就農者に対する補助事業の周知や技術支援について、市と連携して行った。

実績：新規参入者数 数値目標…2経営体 実績数値…2経営体 参入目標面積…1ha

実績…2経営体 0.19ha

評価：C 前年度実績を数値目標としていたが、予定を下回る実績であったため、C評価とした。担い手不足であり、意欲ある新規就農者の確保に向け、どう支援活動していくかが課題として挙げられる。

農業後継者や新規就農者の育成、確保

農業後継者や新規就農者の育成、確保／農林課

内容：新規給付申請者1名125万円を給付した。（継続給付2名については、26年度補正予算により27年度分を前倒しでそれぞれ150万円を平成26年度に給付している。）

実績：目標 新規就農者の増加

実績 給付対象者 3名

評価：D 新規で1名の申請者あり、給付対象者が増えた。

農用地有効利用のための利用集積の推進

担い手への農地の利用集積・集約化／農業委員会

内容：農業経営強化促進法に基づく利用権の設定に積極的に取り組んだ。

実績：新規集積面積 数値目標…5ha 実績数値…11ha

評価：A 前年度実績を数値目標としていたが、目標を上回る実績であったため、A評価とした。基盤整備がされた大規模農地については、担い手への貸付けが進んでいるものの、山間部の傾斜地や矮小農地は、借り手がなく貸付けが進まないことが課題として挙げられる。

利用状況調査の実施に伴う遊休農地の発生防止・解消

遊休農地の発生防止・解消／農業委員会

内容：農地パトロール（利用状況調査）と利用意向調査を実施し、農地の利用増進に向けて利用調整を行う。

実績：遊休農地解消面積 数値目標…6 h a 実績数値…7 h a

評価：B 前年度実績を数値目標としていたが、ほぼ予定どおりの実績であったため、B評価とした。所有者等から表明された意向内容を農地の利用増進に向けての利用調整に活かすのが難しいことが課題として挙げられる。

開発事業や事業活動における環境への配慮（2-⑦）

開発行為に対する環境配慮の指導・監視

開発行為に対する環境配慮の指導／都市計画課

内容：沼田市地域開発事業指導要綱に基づき、開発行為に対して公園、緑地又は広場の設置等、環境への配慮の指導を行った。

実績：目標件数 …なし（申請によるものなのでなし）

申請件数 …10件

評価：B 申請があったものに対して、全件指導を行ったのでほぼ予定どおりの成果を得られた。

環境負荷の少ない公共事業の推進

LED防犯灯新設工事／防災対策課

内容：行政区からの要望に基づき、防犯灯の新設及び既設防犯灯（蛍光灯）器具の交換を実施した。

実績：H27年度LED防犯灯新設工事

工事費：3,726,000円

整備灯数：新設84灯、交換15灯、撤去2灯

評価：B 行政区からの要望灯数でLED防犯灯新設工事を実施することができた。

グリーンベル21駐車場改修工事／グリーンベル21活用推進課

内容：建築から20年以上が経過し、経年に伴う劣化により機能が低下しているため、外壁塗装や屋上防水、鉄骨耐火被覆補修などの改修を行ったほか、照明器具や消防設備などの更新を実施した。

実績：照明器具を更新した。

照明器具344個、誘導灯90個、非常灯27個をLEDに交換した。

評価：B 照明器具を省電力のLEDに交換したことにより、CO2削減による地球温暖化防止を図ることができた。

県単独事業／農林課

内容：工事特記仕様書を添付し、その中でも建設リサイクル法の遵守、排出ガス対策機械使用を促進し、環境への負荷の低減を図るよう請負業者に対し指導、管理する。

実績：目標 指導・管理予定件数 工事6件

実績 指導・管理予定件数 工事6件

評価：B 環境配慮への指導もかなり浸透してきたと思われ、業者への徹底が図られてきていると思われる。

市単独事業／農林課

内容：工事特記仕様書を添付し、その中でも建設リサイクル法の遵守、排出ガス対策機械使用を促進し、環境への負荷の低減を図るよう請負業者に対し指導、管理する。

実績：目標 指導・管理予定件数 工事7件、修繕15件、委託5件、機械借上11件、
原材料支給15件

実績 指導・管理予定件数 工事7件、修繕15件、委託5件、機械借上11件、
原材料支給15件

評価：B 環境配慮への指導もかなり浸透してきたと思われるが、小規模業者においては、まだ、内容の詳細について理解していない業者も見受けられ、今後も指導・管理をしていきたい。

都市公園等照明LED化推進事業／都市計画課

内容：都市公園等LED照明設置工事 17基

実績：平成27年度 LED照明設置目標数 17基

平成27年度 LED照明設置実施数 17基

評価：B

公共下水道建設事業／上下水道課

内容：全発注工事において、環境配慮公共工事特記仕様書を契約書に添付し、環境負荷の低減を図るよう指示した。

実績：平成27年度 51件

評価：B 請負者の環境配慮型の機械等の配置・使用は主要機械については達成されているが小型機械においては排対型の配置が一部遅れている状況も見受けられる。

家畜排せつ物の適正な処理

畜産経営環境改善事業／農林課

内容：殺虫剤や消毒剤の導入、畜舎消毒に対する助成を行った。

実績：畜舎消毒 目標3回 実績3回 消毒農家数 7戸

評価：B 計画通りの消毒作業が実施されたことにより、害虫の発生が予防され畜舎等の環境保全が促進された。

3 生活環境の保全

— 重点施策 —

快適な生活環境の確保（安心してらせる安全で快適な環境づくり）

水質、道路交通騒音・振動などが生活環境に与える程度を監視するとともに、関係機関と連携し、良好な生活環境を確保するための対策を実施します。

福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質による環境汚染への監視と情報の提供を進めていくとともに、有害化学物質や新たな物質による環境汚染への対応、環境面から自然災害の軽減など、環境リスクの低減を推進していきます。

生活雑排水処理（3-①）

公共下水道の整備及び普及

公共下水道建設事業／上下水道課

内容：平成28年3月に事業計画を変更し、計画区域面積を汚水826ha、雨水657ha、事業計画期間を平成32年度末として整備を実施。

実績：汚水管路整備延長 637m、整備面積 2.00ha、整備人口 59人

雨水管路整備延長 59.4m

評価：B 財政状況により、事業計画を満たす進捗とはなっておらず、現年予算規模に見合った進捗状況である。

合併処理浄化槽の普及促進

合併処理浄化槽設置整備事業／上下水道課

内容：公共下水道及び農業集落排水の整備区域以外の地域について、生活環境の向上及び公共用水域の水質保全に資するため、当該地域の合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付する。

実績：補助金交付 79件（数値目標 100件）

評価：B

公害防止対策（3-②）

事業所への法令遵守の指導

道路補修事業ほか6事業／建設課

内容：市が発注する一定規模以上の土木工事、舗装工事その他これらに類する工事については、環境配慮特記仕様書に基づき環境負荷の低減を図るよう請負業者に指示し管理した。

実績：市発注工事における環境配慮事項 計画 27件、実績 41件

（道路補修工事 22件、舗装補修工事 3件、消雪施設補修工事 2件、防護柵設置

工事 3件、道路改良工事 1件、橋梁補修工事 1件、災害復旧工事 9件)
評価：A 当初予定にない災害復旧工事にも対応を行った。

公害苦情への適正な対応

公害苦情対応／環境課

内容：典型7公害に関わる苦情に限らず、空き地の雑草の繁茂や害虫の大量発生等、生活環境に関わる相談も受け付けた。

実績：件数：58件

(大気：10件、水質汚濁：4件、土壌汚染：0件、騒音：5件、振動：0件、地盤沈下：0件、悪臭：8件、その他：31件)

評価：D 効果を判断することは難しいため。

水質、騒音等の調査及び監視

定期水質検査(直営)／環境課

内容：毎月1回、市内河川10箇所において水質検査を実施した。

実績：検査箇所：市内河川10箇所

検査項目：水温、透視度、pH、SS(浮遊物質)、BOD(生物化学的酸素要求量)

評価：B 予定どおりの測定回数を実施し、年間の推移を把握できたためB評価とした。

市内河川水質検査(全窒素、全磷)／環境課

内容：8月及び12月に市内河川の9箇所において、4項目について水質検査を実施した。

実績：検査箇所：市内河川9箇所

検査項目：全窒素・全磷・溶存酸素量(DO)・大腸菌群数

評価：B 予定どおり測定を実施できたためB評価とした。

環境騒音測定調査(直営)／環境課

内容：市役所東庁舎前において、秋季平日の朝6時から翌朝6時までの毎正時10分間の騒音と交通量を測定した。

実績：調査場所：市役所東庁舎

調査期間：秋季平日の24時間

評価：B 予定どおり測定を実施できたためB評価とした。

自動車交通騒音測定調査(直営)／環境課

内容：岩本町地内において、自動車交通騒音測定調査を行った。

実績：調査場所：岩本町地内(国道17号沿い)

調査期間：1週間

評価：B 予定どおり測定を実施できたためB評価とした。

関越自動車騒音測定調査（直営）／環境課

内容：堀廻町地内の関越自動車道沿線の民家において、自動車交通騒音測定調査を実施した。

実績：調査場所：堀廻町地内（関越自動車道沿線）

調査期間：1週間

評価：B 予定どおり測定を実施できたためB評価とした。

自動車騒音常時監視／環境課

内容：業者委託し、常時監視を実施した。

実績：調査場所：一般国道145号線、小日向沼田線、道木佐山沼田線、戸鹿野下之町線

調査期間：24時間

評価：B 実態を把握し、過去のデータと比較をすることができた。

公害発生時の情報提供

大気汚染注意報発令時の連絡及び周知／環境課

内容：平成27年度は注意報の発令がなかったため、実績なし。

実績：実績数値等なし

評価：D 効果の判断は難しい。

不法投棄対策（3-③）

地域との連携等による監視の強化

不法投棄対策・パトロールの強化／環境課

内容：住民組織である環境保健協議会とも連携し、不法投棄禁止看板の作成・設置、情報提供等、地域と密着した不法投棄防止の啓発に努めた。また、職員により過去に不法投棄された現場などを中心にパトロール実施。

実績：月1回程度のパトロール実施。

不法投棄調査箇所6箇所、収集量不燃ごみ370kg

評価：D 山間部が多いことから、不法投棄箇所の把握も難しい。

パトロールの強化

不法投棄対策・パトロールの強化／環境課

※上記事業と同じ

野焼き等の防止（3-④）

広報やホームページによる啓発

広報ぬまたによる野焼き防止啓発／環境課

内容：広報ぬまた10月号に野焼きの防止を啓発する記事を掲載した。

実績：実績数値等なし

評価：D 効果の判断は難しい。

公共交通機関の充実（3-⑤）

利便性の高い公共交通機関の再編検討

利便性の高い公共交通機関の再編検討／生活課

内容：既存の委託9路線に加え、沼田駅から新利根中央病院までを運行する沼須線を新設（9月1日）し、通院などの利便性向上と、バス利用によるマイカー利用の抑制で環境負荷の少ないエコな移動手段の拡充を図った。

実績：バス利用者の増加による環境負荷の軽減

評価：D 公共交通機関の利用による環境負荷の軽減は数値的な実績を押さえづらく評価が難しいが、交通弱者対策としても必要不可欠な施策である。

公共交通機関の利用促進

公共交通機関の利用促進／生活課

内容：迦葉山線におけるサラダパークぬまたへの直接乗り入れや、スキーパークとの連携によるパーク&ライドなどを実施した。また、平成26年度に作製したチラシを更に見やすく改良して配布した他、小冊子版時刻表も作製し、利根沼田管内の高校等へ配布した。

実績：路線バスにおける観光客利用や、高校生などの通学利用を促し、バス利用者の増加による環境負荷の軽減を促進した。

評価：D 公共交通機関の利用による環境負荷の軽減は数値的な実績を押さえづらく評価が難しいが、交通弱者対策等で必要不可欠なものであり、路線維持のための利用促進策は重要である。

地域美化（3-⑥）

市内一斉清掃の実施

地域美化・市内一斉清掃／環境課

内容：春秋2回の市内一斉清掃を実施。広報ぬまたへの掲載及びチラシの全戸回覧により、多くの市民の参加を呼び掛け、環境美化への啓発を行っている。

実績：春 参加者 12,138人 ごみ収集量 29t

秋 参加者 10,529人 ごみ収集量 23t

評価：B 各町において区長・環境保健協議会支部長等が中心となり、実施している。春・秋の2回に行うことにより、地域の生活環境が保たれている。

ボランティア清掃の推進

地域美化・ボランティア清掃の推進／環境課

内容：地域団体が清掃活動を行った際、処理手数料の減免を行いボランティアによる清掃を推進。

実績：H26 20件

H27 17件

評価：B 学生をはじめとする各種団体が、地域の環境美化のためボランティア清掃を実践しており、多少の増減はあるものの毎年約20件の減免を行っている。このような活動団体を普及啓発させていくことが課題である。

都市緑化の推進（3-⑦）

生け垣の奨励

緑と花のあるまちづくり事業／都市計画課

内容：前年に引き続き、地域の緑化活動に対して補助を行い都市緑化の推進を図った。

実績： 数値目標：生け垣奨励事業3件 延長30.0m 緑と花のあるまちづくり事業20団体

実績数値：生け垣奨励事業1件 延長19.0m 緑と花のあるまちづくり事業20団体

評価：B

都市公園や緑地の整備、拡大

都市公園等管理事業／都市計画課

内容：前年に引き続き、都市公園等の管理を適切に行い、都市緑化の推進を図った。また、運動公園に農林課苗木支給事業による低木（660本）の植栽を実施した。

実績： 目標管理面積：都市公園 17箇所 272,785㎡ その他緑地等 12箇所 25,491㎡

実施管理面積：都市公園 17箇所 272,785㎡ その他緑地等 12箇所 25,491㎡

評価：B

中心市街地街なか再生関連事業／街なか対策課

内容：土地区画整理事業により生み出された道路予定地に花壇を設置し「やすらぎとうるおいのある街なか」を提供した。

実績：数値目標及び実績数値は定めず、四季を通した花苗の植え付けを目標として、市民等にやすらぎとうるおいが与えられたことを実績としている。

評価：B 四季を通した花苗の植え付けを行うことで、やすらぎとうるおいのある街なかを提供することができ、今年度においては利根実業高校の他に、中心市街地の商店街店舗主にも、植え付け作業に参加していただき、より市民に親しみのある物にできた。

都市公園や緑地の整備、拡大／社会福祉課

内容：アメリカシロヒトリ等害虫駆除作業

実績：作業実施人数（警備員含む）・・・消毒実施者3名（社会係より環境課廃棄物係へ依頼）及び前後警備員4名（社会係、市社会福祉協議会）

実際の実施人数・・・消毒実施者3名（社会係より環境課廃棄物係へ依頼）及び前後警備員4名（社会係、市社会福祉協議会）

評価：B

奈良古墳群環境整備事業／社会教育課

内容：平成27年6月7日（日）に、池田地区の振興協議会の役員を中心に市の職員と、奈良古墳群の環境整備のため、花苗植えとウッドチップの歩道を整備した。

実績：○数値目標：花苗 260 ポット植えとウッドチップ 5 m³で整備。草刈り延べ 32 人。

○実績数値：花苗 260 ポット植えとウッドチップ 5 m³で整備。草刈り延べ 30 人。

評価：B 前年並みの事業を実施したため。

緑化、花いっぱい運動の推進（3－⑧）

イベント等でのPR

公園緑地ふれあい事業／都市計画課

内容：駅前フラワー広場において、公園・緑地とのふれあいと市民との協働作業による緑地整備を目的として、榛名幼稚園児による花壇の植え替え作業を実施した。

平成27年11月11日（水） ビオラ 約192株

実績：目標イベント開催数：1回

実施イベント開催数：1回

評価：B

花いっぱい推進運動補助事業／社会教育課

内容：4月12日（日）に開催された「桜まつり」で、「花いっぱい運動広報宣伝会」として、ラベンダー苗 500 ポットを配布するとともに、6月12日（金）に花いっぱい運動実践地区(18 団体)に花苗 6,000 ポットを配布した。

実績：○数値目標：宣伝苗配布…ラベンダー500ポット、実践地区への配布…花苗 6,000ポット

○実績数値：宣伝苗配布…ラベンダー500ポット、実践地区への配布…花苗 6,000ポット

評価：B 前年度並の事業を実施したため。

景観の形成（3－⑨）

良好な景観形成に向けた景観条例制定の検討

景観条例制定の検討／都市計画課

内容：他市の事例、計画内容、策定状況を確認し検討を行った。

実績：実績数値等なし

評価：D 検討中であるため判断できない。

自然災害の軽減（3－⑩）

治山・治水事業の実施

森林環境整備事業／農林課

内容：補助公共治山事業及び県単治山事業により山地災害の復旧・防止を図る。

実績：目標 補助公共治山事業2箇所、県単治山事業6箇所、保安林リフレッシュ事業2箇所
実績 補助公共治山事業3箇所、県単治山事業8箇所、保安林リフレッシュ事業2箇所
評価：A 近年では、地球温暖化の影響とも言われている台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加などにより、山地災害が発生しやすい状況にあることから、県などの関係機関と連携を図り、災害に対して迅速な対応を努めるとともに、治山施設の整備や機能の低下した森林整備を実施する必要がある。

放射線対策（3-⑪）

定期的なモニタリングの実施

空間放射線量定点測定／環境課

内容：月に一度、市内各公共施設における空間放射線量を測定した。
実績：毎月の定期的なモニタリングのため、数値目標等はなし。
測定回数：12回（各月1回）
測定場所：本庁舎、各支所、各地区公民館ほか参考12箇所
評価：B 予定通りの回数を実施することができたことから、B評価とした。
定期モニタリングであることから、特に課題等はなし。

測定機器の貸し出し

放射線量測定器貸し出し／環境課

内容：市民に対し放射線量測定器の貸し出しを行った。
なお、高い線量が検出された等の相談はなし。
実績：数値目標等はなし。
貸し出し回数：8件（4月：3件、6月：2件、11月：1件、12月：1件、2月：1件）
評価：B 数値目標等はないためB評価とした。特に課題等はなし。

食品検査の実施と情報提供

食品検査の実施と情報提供／生活課

内容：市民持ち込みによる食品を対象として検査し、結果は本人に知らせる他、沼田市ホームページでも公開し広く情報提供した。また、高濃度の放射能が含まれる可能性がある数値が出た場合は、民間委託により精密検査も行う体制を整えている。
実績：検査を行って確かに安全か否かを知っていただくことで、市民が抱える不安を解消することが目的であり数値的目標は立てにくいのが、検査依頼が減少する事が理想と考える。
※平成27年度検査実績：簡易検査45件、確定検査0件、100 bq/kg を超えた物0件
評価：B 検査実施初年度（平成24年度）は353件の依頼があったが、年々検査依頼は減少傾向にあり、市民が抱く不安も解消しつつあると判断できる。

空き家対策（3－⑫）

空き家の把握による対応策の検討

空き家対策／建設課

内容：実績無し

実績：実績数値無し

評価：なし（平成28年度の取り組み計画）空き家実態調査、現地調査、所有者特定、所有者に対する利用意向調査等を行う予定。

4 循環型社会の構築

— 重点施策 —

ごみの発生・排出量の削減

ごみを出さない工夫をするとともに、分別を徹底し、市民・事業所・市がそれぞれの立場で考え、役割に基づいて行動し、ごみの減量化に努めます。

廃棄物の適正な処理と資源化の推進

限りある資源を効果的に活用し、将来にわたって持続可能な社会を作るため、市民・事業所・市が連携して製造品の再生利用などに積極的に取り組みます。

ごみの分別の徹底（4-①）

環境保健協議会と連携した分別の推進

ごみの分別の徹底（環境保健協議会との連携）／環境課

内容：環境保健協議会と連携し、ごみステーションの維持管理等を強化。ステーションに出された分別できていないごみに対してルール違反シールを貼り、分別への意識の高揚を図った。また、分別周知看板をステーションに設置。

実績：分別できていないルール違反ごみの削減。

評価：B ごみステーションでのごみ収集量は、若干ではあるが減少傾向にある。このため効果はあるものと思われるが、再資源化量は若干ではあるが減少傾向にあるので、今後も環境保健協議会との連携を強化し、ルール違反ごみを減らし、分別の徹底を図って行く必要がある。

ごみの分別の徹底（ごみ再資源化の推進）／環境課

内容：H27より、古着・古布の繊維類を分別の種類に加えた。また、小型家電リサイクルとして拠点回収及びピックアップ回収を実施。

実績：再資源化量を増やし、ごみ収集量の削減を図る。

評価：C ごみ収集量は、若干ではあるが減少傾向にあるが、直接搬入されるごみ量は増加傾向にある。また、再資源化量も若干ではあるが減少傾向にある。このため、市民への周知を行い、より一層のリサイクルへの意識の高揚を図る必要がある。

ごみの再資源化の推進

文書事業（古紙回収）／総務課

内容：庁内に集積した行政文書等の古紙を適宜業者に回収してもらい、リサイクルを推進した。また、情報保護の観点から夏場に1回、業者に依頼の上、機密文書裁断車を庁舎駐車場に入れ、庁内の機密文書等に係る裁断作業を行った。

実績：歳入：古紙回収×12回（8.6トン、古紙売上代 44 千円）

歳出：機密文書細断×1回（2.6トン、手数料 56 千円）

評価：B

ごみの分別の徹底（ごみ再資源化の推進）／環境課

※上記事業と同じ

廃棄物適正処理の推進（4-②）

廃棄物の適正な処理の推進

環境保全型農業推進事業／農林課

内容：園芸用廃プラスチック適正処理推進協議会を通じ農業用廃棄物処理費用の助成を行った。

実績：目標 廃ポリ・マルチ処理量 282,000 k g

実績 廃ポリ・マルチ処理量 295,543kg

評価：B 予定通りの廃ポリ・マルチが処理されたことにより、廃棄物の適正処理の推進が図れた。

焼却施設、最終処分場の適正管理の推進

廃棄物適正処理の推進（焼却施設・最終処分場適正管理）／環境課

内容：上川田最終処分場 水処理施設維持管理点検 毎週1回実施

旧佐山最終処分場 水処理施設維持管理点検 毎月2回実施

浸出水及び放流水の水質検査 毎月1回実施

実績：水質の基準値以内の数値の維持

評価：B 定期的な点検及び検査により、水質も基準値以内の数値を維持しており、適正な管理ができているものと評価できる。

リサイクル処理施設の整備検討

廃棄物適正処理の推進（リサイクル処理施設整備検討）／環境課

内容：広域化に向け利根沼田地区一般廃棄物処理広域化研究会を開催し検討。

実績：実績数値等なし

評価：D 広域化に向け検討段階であり、現時点では判断できない。

一般廃棄物最終処分場の整備検討

廃棄物適正処理の推進（一般廃棄物処理施設整備検討）／環境課

内容：広域化に向け利根沼田地区一般廃棄物処理広域化研究会を開催し検討。

実績：実績数値等なし

評価：D 広域化に向け検討段階であり、現時点では判断できない。

資源リサイクルの推進（４－③）

有価物集団回収の推進

有価物集団回収奨励事業／環境課

内容：広報・ホームページ等で事業を紹介し、登録団体を募り、有価物集団回収を推進。

実績：平成 27 年度は 52 団体が登録し、紙類 598 t、金属類 18 t、生びん 15 t、その他 7 t、計 638 t の資源回収を行うことができた。

評価：B ここ数年実施団体数は、変わっていないため、この制度を知らない団体もあると思われるので、今後さらに周知を図る必要があると思われる。

5 地球温暖化の防止

— 重点施策 —

低炭素社会の実現

すべての市民、事業所、行政が当事者であり、主役であることを認識し、地球温暖化防止に向けた総合的な施策を展開するため、エコの実プランに基づき、地域で発生する二酸化炭素などの温室効果ガス*の削減に取り組みます。

また、再生可能エネルギー*の活用や森林による二酸化炭素の吸収機能を活用したカーボンオフセット*事業を推進します。

平成19年度（2007年度）を基準年として、市内から排出される温室効果ガス排出量削減目標として以下の目標を目指します。

短期目標：平成32年度（2020年度）の排出量を基準年比13%削減

中期目標：平成42年度（2030年度）年の排出量は新たに設定される国や県の削減目標を踏まえて別途設定

長期目標：2050年排出量を基準年比60～80%削減

地域での温室効果ガス対策の推進（5-①）

実行計画の策定による具体策の推進（エコの実プランの推進）

第二次沼田市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進／環境課

内容：前年度に引き続き、各部局において温室効果ガス排出量削減の取り組みを推進した。

実績：目標：3,988,405kg-CO₂

実績：3,642,404kg-CO₂

評価：A 前年度実績及び設定した目標よりも削減することができたため、A評価とした。

課題として、震災以降は各部局において節電や省エネの意識が浸透してきたものの、個々の取り組みにも限界が見えており、新たな対策を研究する必要がある。

緑のカーテンづくりの推進

緑のカーテン事業／環境課

内容：緑のカーテン事業に参加できる個人、法人にゴーヤの苗等を配布し、成果写真コンテストを実施した。

実績：400世帯分の苗等を準備 配布人数：247名

成果写真コンテスト応募者：13名

評価：C 準備数に対し、配布できた人数が少なかったためCと評価した。

緑のカーテンづくりの推進／社会福祉課

内容：東原庁舎の南側全面をグリーンネットで覆い、ゴーヤの苗のプランターを地面に置き網に這わせて、グリーンカーテンにした。

実績：全期間としては、5月末に開始、9月末終了の計画。準備段階としての網の設置については、環境課・社会福祉課の職員を中心に他課（こども課、高齢福祉課、生活課）にも協力をお願いする。実際の実施期間及び網の設置については、計画とおりの進行で実施済み。なお、土日祭日（休日）については、東原庁舎勤務職員全員のボランティアにより、平日は社会係が水やり及び手入れを受け持った。

評価：B

エコドライブの普及啓発

エコドライブ講習会／環境課

内容：谷川ドライビングスクールにおいて同教官を講師に迎え、例年と同様の内容でエコドライブ講習会を実施した。

実績：目標参加者・・・6名（定員）

実際の参加者・・・2名

評価：C 定員いっぱい参加者を目標としていたが、達成できなかったためC評価とした。参加者の声を聞くとおおむね好評であるものの、まだまだ知名度が低く、事業の存在が知られていないことが課題として挙げられる。

講演会等の開催

地球温暖化問題講演会／環境課

内容：開催日：平成27年12月5日（土）

講師：カンキョーズ（漫才師・おもしろ環境博士）

テーマ：「おもしろ環境ゼミナール～未来、みんなができること」

実績：目標：来場者数60名

実績：来場者数30名

評価：C 多くの来場者があった平成26年度講演会（市政60周年記念）の約半数程度の来場者を目標としていたが、満たせなかったためC評価とした。今までの経過から、来場者数は講師の知名度に左右される部分が多く、講演会がまだ市民に浸透していないことが明らかであり、知名度を上げていく必要がある。

出前講座や広報、ホームページによる啓発

出前講座「家庭でできる地球温暖化防止活動」／環境課

内容：「白沢町燦々会（高齢者教室）」の招きにより、5月18日白沢公民館の同会学習会において、出前講座を行った。

実績：数値目標はなし。約55名の参加者があった。

評価：D 講座を開催したことによる効果、参加者への影響については具体的に図りかねるも

のであるため、D評価とした。

再生可能エネルギーの活用推進（5-②）

太陽光、太陽熱利用の普及促進

太陽光、太陽熱利用の普及促進／環境課

内容：市内で自ら居住する住宅に太陽光発電設備及び太陽熱利用システムを設置する者に設置費用の一部を補助金として支給した。利根町平川地区の市有地において、土地貸しによる大規模発電事業を実施した。

実績：年間目標件数 太陽光発電設備・・・100件 太陽熱利用システム・・・10件

交付件数 太陽光発電設備・・・85件 太陽熱利用システム・・・8件

評価：C 市全体としての太陽光発電設備の普及は必ずしも進んでいるとは言いがたいが、設置申請件数の減少を踏まえ、補助金の見直しが必要と考える。

ふれあい福祉センター管理運営事業／高齢福祉課

内容：平成17年度から引き続き、OMソーラーを継続して使用し冷暖房の補助設備として電気使用量の削減を図った。

実績：指定管理者におけるOMソーラー保守点検業務委託料及び電気使用量となるが、OMソーラー設置による電気使用量削減幅は不明である。

評価：B 年間を通して機器が正常に稼働していたことから、ほぼ予定どおりの効果が得られたと思われる。

小水力、マイクロ発電の導入検討

小水力、マイクロ発電の導入検討／環境課

内容：平川第一砂防堰堤小水力発電施設基本設計の工事費等の精査と経済性に再検討を平成26年度に引き続き実施。その他、小水力発電の可能性調査を引き続き実施。

実績：実績数値等なし

評価：D

小水力発電所／上下水道課

内容：自然エネルギーを活用した水力発電は、浄水施設の使用電気料の節減となり、水道事業経営に大きく貢献していますが、水力発電機器は更新時期を迎えており、日常管理と定期点検を実施し機能維持に努めた。施設見学者には、自然エネルギーを活用した発電施設として紹介した。

実績：数値目標 浄水施設使用電力量の60%

実績数値 収益換算額 4,159,900円－更新工事費 4,806,000円－点検料 162,000円
＝ 実収益 - 808,100円

総使用電力 480,600kwh/年 水力発電電力 272,516kwh/年使用電力割合 56.7%

評価：C 更新工事期間中、水力発電が稼働出来ず使用電力目標値を下回った。また、発電機

器が経年劣化により、更新時期を迎えており、今後も大規模な工事が予想される。
きめ細かな日常管理と機器の更新計画が必要となる。

バイオマスの利活用

バイオマスの利活用／環境課

内容：地域内の未利用バイオマスの把握

実績：実績数値等なし

評価：D 地域内のバイオマス賦存量の把握には、民間事業者との連携による情報収集が必要であることから、地元企業との情報交換を行ってバイオマス利用の可能性を検討する必要がある。

地域の特性を活かしたエネルギーの導入検討

地域の特性を活かしたエネルギーの導入検討／環境課

内容：公共施設への再生可能エネルギーの導入

実績：ぬまた南保育園太陽光発電設備設置 8.78 kW

しゃくなげの湯ヒートパイプ融雪設備設置 12.8 m²

評価：D 具体的な数値目標の設定が無い場合、導入目標等の設定が必要である。

6 協働による環境像の実現

— 重点施策 —

市民・事業所・市の協働による環境問題への取り組み

環境問題に関する市民の役割、事業所の役割、市の役割を明確にし、三者が一体となり、かつ主体的に環境問題に取り組めるよう、情報の共有や組織づくりを進めます。

環境を保全する人づくり

講習会や研修会、自然観察会等を通し、率先して環境保全に取り組むリーダーを養成します。

環境活動団体との連携（6-①）

「ぬまた環境ネット」への加盟団体の拡大

「ぬまた環境ネット」への加盟団体の拡大／環境課

内容：ぬまた環境ネットの情報誌「ぬまた環境ネットだより～ぬまたの環～」を発行し、加盟団体の活動紹介や新規加盟団体の募集等を行った。

実績：川田ひだまりの会が新規加入し、15団体となった。

評価：B ほぼ予定していたとおり、ぬまた環境ネットへの新規加入という実績があったためB評価とした。

加盟団体相互の情報の共有化

「ぬまた環境ネット」加盟団体相互の情報の共有化／環境課

内容：加盟団体の代表者会議を開催し、加盟団体相互の情報交換を行った。

実績：加盟団体の代表者会議を2回開催した。

評価：B 予定どおり会議を開催し、情報共有化が図られたためB評価とした。

加盟団体活動の支援

ぬまた環境ネットへの事業委託／環境課

内容：・ブナの幼木移植 ・森林資源の保全と活用策を学ぶ ・環境学習会（2回）
・ごったくまつり ・親子環境体験事業 ・裂き織り教室、刺し子教室
・環境フォーラムぬまた

実績：実績数値等なし

評価：D 効果の判断をすることは難しいため。

高等学校との連携強化

高等学校との連携強化／環境課

内容：各種啓発イベントで連携することにより、啓発活動を効果的に行った。

実績：・利根実業高校との連携

緑のカーテンのゴーヤ苗の育成及び配付イベントの参加

・尾瀬高等学校との連携

環境フォーラムぬまたへの出展及び玉原高原におけるブナの幼木移植の参加

評価：B 予定どおり、各種啓発イベントにおいて連携が図られたためB評価とした。

環境啓発イベント等の開催（6-②）

「環境フォーラムぬまた」の内容充実

環境フォーラムぬまた／環境課

内容：市内環境団体による出展により、来場者への環境啓発を行った。なお「地球にやさしい生活」「北極のナヌー」2作品の映像上映会を行った。

実績：映像上映会：64人 牛乳パックとトイレットペーパーの交換：トイレットペーパー971個、交換人数218人、牛乳パック310kg 古着・古布の回収：44人、230kg ランチセット販売数：138食

評価：B おおよそ予定していたとおりの取り組みが実施できたため、B評価とした。

講演会等の開催

光害星空観察会／環境課

内容：人工の光が自然環境に及ぼす影響を体感してもらうため、市内2箇所（沼田市役所東原庁舎、利根町多那）で星空観察を行った。

実績：参加者：8名

評価：B ほぼ予定どおりの参加者数であったため、B評価とした。

環境教育の推進（6-③）

家庭や事業所などでの環境教育の推進

親子環境教室／環境課

内容：講義と料理作りを通して、フードマイレージ（地産地消の推進）、ごみの減量化、節水、省エネについて親子で学ぶ親子エコ料理教室を開催した。

実績：参加者：3組7名

評価：B ほぼ予定どおりの参加者数であったため、B評価とした。

保育園、幼稚園、小中学校における環境教育の推進と充実

地球温暖化防止ポスター・標語コンクール／環境課

内容：市民を対象とした地球温暖化防止に係るポスター・標語のコンクールを行い、11月21日（土）から12月5日（土）までの間、沼田市中央公民館で作品を展示し、12月5日（土）に表彰式を行った。

実績：ポスター応募数：138 標語応募数：402

評価：B ほぼ予定どおりの参加者数であったため、B評価とした。

ふるさとの魚放流促進事業／農林課

内容：春には放流事業を行い、秋には釣り教室を実施した。

実績：目標 放 流…4校 放流稚魚…約 15,000 匹 釣り教室…2校

実績 放 流…4校 放流稚魚…約 15,000 匹 釣り教室…2校

評価：B 放流事業については、小学校の近隣に魚の放流に適した川があることが条件となり、釣り教室については、実施場所の利根漁協畜養池まで徒歩またはスクールバス等で来る事が条件となり地理的要件により参加できる学校が絞られてしまう。そのため、市内全校での実施が望ましいが、毎年同じ学校での実施となる。

環境教育用太陽光発電施設の設置／庶務課

内容：27年度取り組みなし

実績：実績数値等なし

評価：D

尾瀬学校事業／学校教育課

内容：群馬県「尾瀬学校」補助金の活用により、市内各小中学校における環境教育の充実に向けた体験学習や尾瀬の自然見学が充実できるよう指導助言した。

群馬県「尾瀬学校」への参加

実績：平成27年度計画 小学校：11校／388人、中学校：2校／87人

平成27年度実績 小学校：11校／381人、中学校：2校／84人

評価：B 群馬県「尾瀬学校」に小学校11校（381人）、中学校2校（84人）が計画どおり参加し、環境教育の充実に向けた体験学習や尾瀬の自然見学を実施することができた。

みどりのカーテン等環境活動推進委託事業／学校教育課

内容：環境学習の一貫として、市内各小中学校及び各幼稚園において、朝顔等の蔓性の植物による学校（園）内等の緑化による冷房効果を促進するとともに、児童・生徒・園児の環境教育を推進する。

実績：みどりのカーテン設置の協力依頼を行った。

27年度設置校（園） 小学校：7校／13校、中学校：1校／9校、

幼稚園：5園／5園

評価：B 市内小中学校及び幼稚園において、グリーンカーテンが小学校7校、中学校1校、幼稚園5園とほぼ予定どおりに設置され、学校（園）内等の緑化による冷房効果を促進するとともに、児童・生徒・園児の環境教育を推進することができた。

小中学校における環境教育の推進／学校教育課

内容：・「環境教育全体計画」整備状況の確認指導を通して活動のねらいを明確にし、総合的な学習の時間、道徳、各教科等と関連づけた学習の推進を図る。
・学校支援センターの機能の整備により環境に係る様々な活動を地域で行っている人材や環境教育の専門家等の活用を推進した。
・市内各小中学校及び幼稚園において、家庭・地域に協力を依頼して資源回収を実施した。

実績：「環境教育全体計画」整備状況の確認指導を通して活動のねらいを明確にして総合的な学習の時間、道徳、各教科等と関連づけた学習の推進を図った。

○アルミ缶回収：8校3園 ○空き瓶回収：6校3園 ○ペットボトル回収：6校1園
○古紙・段ボール回収：5校3園 ○牛乳パック回収：2校1園 ○その他回収（古着・廃油等）：1校3園 ○エコキャップ運動：12校 ○ベルマーク運動：4校 ○共有林下草刈り：3校 ○通学路清掃等：15校1園 ○ボランティア活動の日の清掃活動：22校1園

評価：B 「環境教育全体計画」整備状況の確認指導を通して活動のねらいを明確にし、総合的な学習の時間、道徳、各教科等と関連づけた学習の推進を図るとともに、市内各小中学校及び幼稚園において、家庭・地域に協力を依頼して資源回収を実施した。

食育の推進

食育推進事業／子ども課

内容：6月の食育月間を中心に、公立保育園6園において食育の取り組みを実施した。

ぬまた南保育園（給食試食会）、ぬまた東保育園（さつまいも苗の植え付けと焼き芋大会）、川田保育園（食材の皮むき体験、野菜の栽培、収穫試食）、白沢保育園（野菜の栽培、収穫試食、カレー作り）、利根保育園（にんじんの栽培）、多那保育園（野菜の栽培、収穫試食、カレー作り）

実績：目標実施園・・・6園（全公立保育園）

実施園・・・6園

評価：B いずれの園においても趣向を凝らした食育の取り組みが行われ、園児と保護者が楽しみながら食材や献立について関心を持つことができた。

食育の推進／健康課

内容：本市健康増進計画「健康ぬまた21」に基づき、食育を推進した。

実績：・数値目標特になし

・実績数値（指導人数）

母子保健 92回 1712人

成人保健 113回 952人

その他 25回 135人

評価：B 計画どおりに事業を実施できた。

緑の少年団の育成

緑の少年団育成事業／農林課

内容：緑の少年団による緑化研修での「緑豊かな地域づくり事業」及び緑の少年団活動に対する補助を行った。

実績：目標 緑豊かな地域づくり事業 5校
緑の少年団活動費補助 13校（市内全小学校）

実績 緑豊かな地域づくり事業 5校
緑の少年団活動費補助 13校（市内全小学校）

評価：B 市内全校へ緑の少年団活動費を補助することにより学校内での緑化活動の推進が図られた。